

2026 年  
2 月

# 久野営農経済センターだより



<注意>「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布が可能。（前日は24時間前）  
「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認する。

△店舗により農薬在庫状況が異なるので、農薬購入の際は事前に在庫確認をすると円滑に購入ができます△

## 【果樹】

### 縮間伐及び園地環境の改善

高品質果実の生産、低樹高化には十分な樹間距離が必要。密植園では樹高が高くなり、作業性の低下や、日陰などで高品質果実が生産できないので剪定前に縮間伐をして樹間距離を確保し、園地の防風林等の手入れも行う。

## 【温州みかん】

### 施肥 1月～2月

○苦土タンカル 200kg/10a：酸性土壌の是正。

※葉色の悪い園(微量要素不足の可能性あり)ではマルチサポート 80kg/10a を使用する。

### 整枝剪定(大津・青島) 2月中旬以降(厳寒期を過ぎた頃)から始める。

大津・青島は大果系で、剪定量が多いと大玉果となるため中玉果の生産のために隔年で管理方法を変える。

- ① 表年の樹：ハサミ剪定を主体で主枝の切り下げ、下垂した枝の切返し、密生した夏秋梢の整理、強い夏枝の発生部からの除去等をする。剪定量を増やすと大玉果の原因になるので剪定量は1割以下を目安とする。
- ② 裏年の樹(昨年着果が多かった樹)：ノコギリ剪定を主体に樹形を整える。樹形は3本主枝の開心自然形が基本となる。また、剪定量が多いと翌年大玉果が増えるため、剪定量は2割以下を目安とする。

- ③ 共通：・ミカンナガタマムシの幼虫を減らすため被害部の切除、園外処分を行う(4月までに行う)

○被害が重度な樹の場合：(主枝が2本以上枯れている樹等) 被害樹を伐採し、園外処分する。

○被害が軽度な樹の場合：主枝単位で切除し、園外処分する。

・薬剤散布や収穫の作業性向上のため、樹冠内部への入り口を北側に作る。

## 【湘南ゴールド】

### 収穫

12月以降3月にかけて糖度は上昇し、クエン酸濃度は低下する。外観にとらわれず、食味を確認してから収穫するが、凍害が心配される場合は早期収穫をすることもある。

### 貯蔵

貯蔵は貯蔵箱やコンテナを使用し、湿度保持のため数枚の新聞紙で覆う。また、コンテナを使用する際は七分目の入庫量とし4～5段積みにして不織布で覆う。この時期の貯蔵庫は入庫量が少ないので湿度保持に努める。

## 【レモン】

### 施肥 1月～2月 ○苦土タンカル 200kg/10a：土壌酸度を適正に保つ。

——【キウイフルーツ】\*下線が引いてあるものは重要防除なので、必ず防除を行う。——

### 病害虫防除 3月中旬(発芽前)

○かいよう病 IC ボルドー-66D 収穫後～発芽前 50倍 2,000g/水 100ℓ

○キウイヒメヨコバイ アグロスリン乳剤(劇) 収穫7日前 3回 2,000倍 50ml/水 100ℓ

### 剪定 剪定が終了していない園は、速やかに剪定を終わらせる。

——【う め】\*下線が引いてあるものは重要防除なので、必ず防除を行う。——

### 病害虫防除

1月：○灰星病(開花2部咲き期～満開期)ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水 100ℓ  
※灰星病の罹病枝が分からない際は、最寄りの営農経済センターに確認する。また、十郎を栽培している場合は十郎の開花状況に合わせる。また、灰星病で枯れた枝は開花期までに剪除し、園内に残さない。

3月上旬～3月下旬：○かいよう病 コサイド 3000 硬核期まで 2,000倍 50g/水 100ℓ

(薬害軽減のためクレフノン 200倍 500g/水 100ℓを加用する)

3月中旬～3月下旬：○アブラムシ類 スミチオン乳剤 収穫14日前 2回 2,000倍 50ml/水 100ℓ

又はチェス顆粒水和剤 収穫21日前 2回 5,000倍 20g/水 100ℓ

○灰色かび病・黒星病 ベルコートフロアブル 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水 100ℓ

適期は落弁期(花びらの八割が散った時期)だが品種により開花時期が異なるので状態に合わせて散布する。

## 【お茶】

**整枝** 3月中旬(寒害がなくなるころ)

秋整枝をしていない園では、摘採面を揃えるため浅く整枝する。また、秋整枝をした園で遅れ芽や立ち葉が出ている際は再整枝(化粧ならし)する。※再整枝は1番茶の品質低下防止のために行う。深刈りは減収につながるのでごく浅く整枝する。

**施肥** 施肥の前に敷き藁・敷き草等をよけておく。

春肥は一番茶の芽の生育と品質に効果があり、茶樹はこの時期に平均温度が10℃以上になると根が動き始め、樹体内の養分の転流が始まる。2回に分けて施肥し、土と混和させると肥効が高まる。

2月下旬 足柄茶配合 033 3袋/10a 3月中旬に足柄茶配合 033 2袋/10aを1回ずつ施肥する。

**定植** 新植及び改植する場合は3月に行う。3月の定植に合わせ2月に定植準備をする。

## 【ジャガイモ】

**畑の準備** 2月中旬～3月上旬

○馬鈴薯専用配合 052 10kg/a 重焼リン 2kg/a 植付けの半月前までに全面施用し混和しておく

**種イモの準備と植付け**

植付け前に一片40～50gの大きさに切り、それぞれに芽がいくつか付いていることを確認し、芽が集まっている頂部を切る。その後2～3日程陰干しを行い、切り口を乾かす。※種イモ量の目安:15～16kg/a

そうか病 アグリマイシン-100 40～100倍 植付け前 1回 5～10秒間種イモ 浸漬

ネビジン粉剤 6kg/a 植付け時 1回 全面土壌混和

○種イモの黒あざ病による腐敗防止

ベンレート水和剤 種イモ重量の0.3～0.4%をまぶすと良い (例)3～4g/種イモ1kg

幅60㌢程の畝に深さ7～8㌢の溝を作り、種イモの切り口を下にして30㌢間隔に植付ける。

※気温が高くなると種イモの萌芽が進みやすくなるので、通気性の良い容器に移し、呼吸熱がこもらないようにし、温度2～3℃の暗所で保管する。また、呼吸量が増加すると黒色心腐になりやすくなるので、発生防止のため温度管理を徹底し高温を避け、換気を十分に行う。

## 【水稲】

**冬季耕運** 12月、1月に行っていない方は直ちに行う。

冬季耕うんの主な目的は①～④となる。1～2回を目安に冬季耕うんをする。

① 刈り株・ワラを分解する。※田植え直前(春)にすき込むと病害虫が発生しやすくなる。

② 病害虫の越冬場所になりやすい「ひこばえ」を除去する。(害虫を越冬させない)

③ 雑草の発生を抑える。草種により効果が異なるが、多年生雑草の塊茎・種子を乾燥により減少させる。

※セリは春に耕運すると増えるので注意する。

④ 水稲除草剤の効果を安定させる。(田面が平らでないと効果が弱まる。)

**スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策**

ジャンボタニシ発生水田では、寒期にロータリー耕を行い貝を掘り起こし寒気にさらすとともに破砕する。作業速度を遅くしロータリーの回転数を高く浅めに耕運すると効果が高まる。

| 病害虫情報・予報(神奈川県)  | JA メールマガジン登録  | JA ネットショップ   | JA 有害鳥獣被害届提出  |
|---|---|--|---|
| 二次元コード<br> | 二次元コード<br> | 二次元コード<br> | 二次元コード<br> |

※是非、ご活用ください。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。